

令和2年3月31日

小平市教育委員会教育長 殿

小平市立小平第十二小学校給食運営委員会

委員長 岩井純一郎



令和元年度 小平市立小平第十二小学校給食運営委員会（第1回）について

このことについて下記の通り報告します。

記

日時：令和元年6月19日（水） 午後0時40分から午後1時30分まで

会場：小平第十二小学校ランチルーム

出席者： 10名

傍聴者： 0名

会議の概要

1 運営委員長挨拶

2 委員紹介

3 会食

4 協議

（学務課長） 小学校10校が調理業務委託をしており、本会議は委託校で開催している。保護者、学校職員、委託事業者、市教委が一同に会し、よい給食を提供することを目的としている。そのために、ご意見をいただきたい。年2回の開催である。試食を通して味の確認、調理の工夫など見ていただき、感想や質問を頂ければと思う。家庭での様子などもお聞かせいただき、よりよいものにしていきたい。

（食育リーダー） 児童によって食事量など個人差もあるので、それぞれに合った指導を心掛けている。おいしいな通信や地場野菜を給食に使用することで子どもたちが興味を持ち、食べてみようという気持ちが育っていければと思っている。本校に着任し、牛乳が冷たい状態で提供されており、配慮されていると感じた。

（委員長） 食育に力をいれていきたいと考えている。伝統料理を伝えた通信などホームページもアップしているのでご覧いただきたい。

（副校長） 給食委員会の児童が献立黒板に食材の表示を休み時間を利用し毎日している。食事に感心、意識付けの推進をしている。アンケートのなども実施している。

（栄養士） 旬の野菜を使用し、オリパラ教育に関連させた世界の料理などを給食に取り入れている。食育月間の取り組みも行っている。安全で楽しめる給食運営をしていきたい。

（受託業者） 責任者の交代があり4月から新体制で実施している。指示書の書面だけでなく、十二小の伝統を大切に研究して作っていくよう心掛けている。暑い時期となり、給食室内の調理する環境も厳しくなっていくが、調理員の熱中症対策も含め、安全な給食づくりをしていく。他自治体も担当しているが、小平市は低温殺菌牛乳の使用など市としての良いこだわりを感じている。

（保護者） 試食し、とてもおいしかった。牛乳もおいしかった。

（保護者） 子どもは家庭で給食がおいしかったと話している。時々、給食で食べてきたものを作ってほしいということもあり、いろいろな料理を食べる機会がありがたいと思う。

（保護者） 牛乳が飲めなかったが一口飲むことから指導してもらい、飲めるようになった。おかわりもできるようになったと話していたので、今日は実際に試食できるのを楽しみにしてきた。家庭で給食時のクイズの話をしているのを聞いたことがあるが、どのような形で出題されているのかわからなかったもので、実際に通信をみて納得した。出席できてよかった。感謝の気持ちを子どもに伝えようと思った。

（副校長） 安全安心に配慮し、衛生管理についても毎日多くの項目を確認しており、安全管理されたなかで、給食提供ができていていると感じている。

5 質疑  
なし。

以上